2008年6月期 株式会社ゼロ 中間決算説明会

2008年2月20日(水) 17:15~









1. 外部環境について



1. 自動車の国内販売状況(2007年7月~12月)

新車

(国内メーカー)

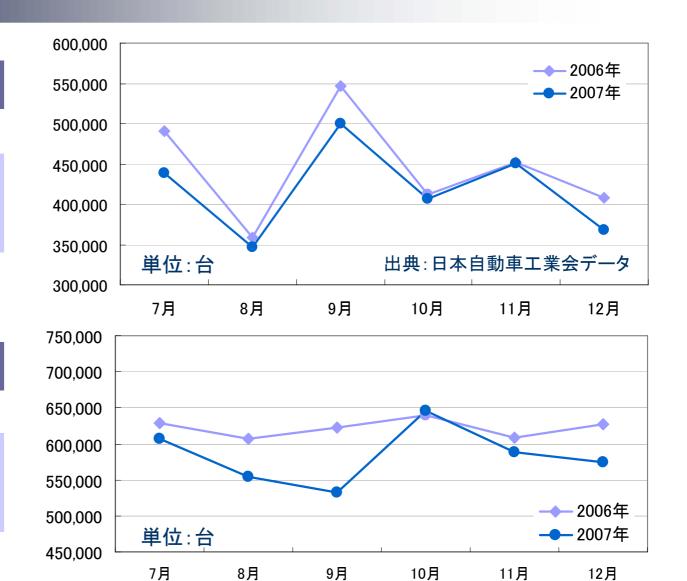
対前年

94.1%

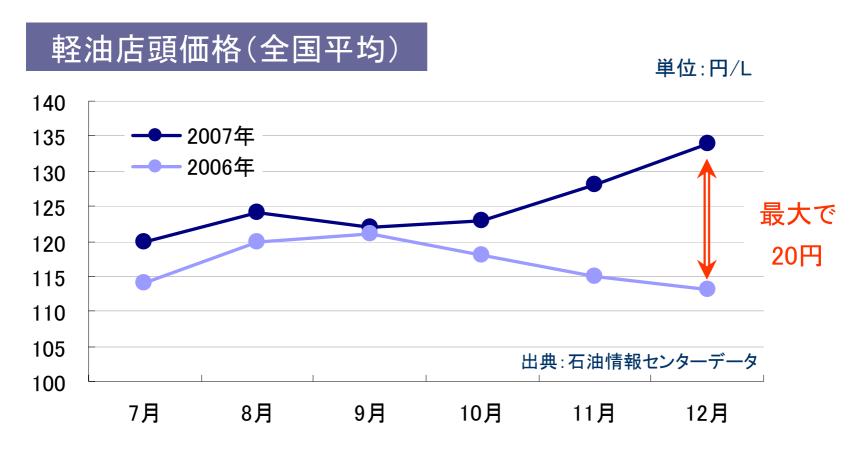
中古車

対前年

93.8%



2. 軽油価格の推移

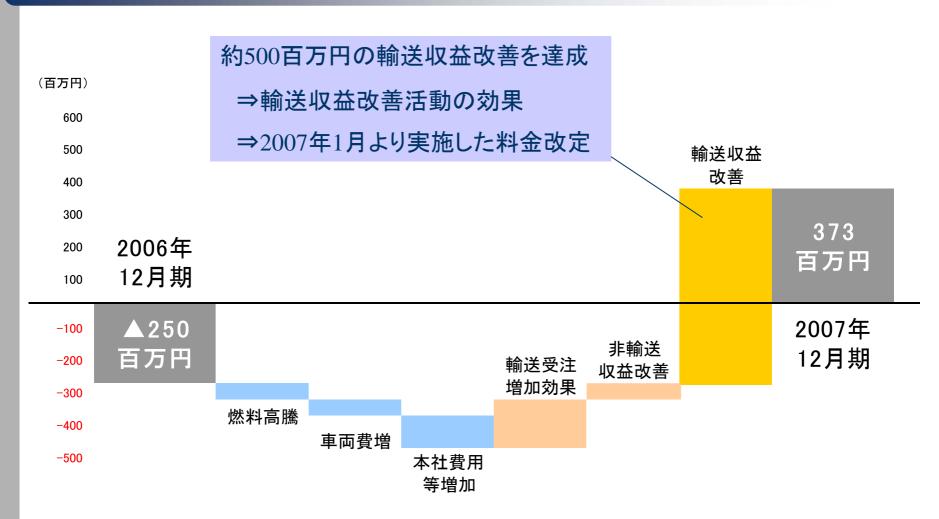


	2006年7月~12月	2007年7月~12月	前年差
軽油店頭価格	117円 / L	125円 / L	8円 / L
ガソリン店頭価格	140円 / L	147円 / L	7円 / L

2. 中間期の実績と通期の見通し



1. 中間期 対前年比較での変動要因

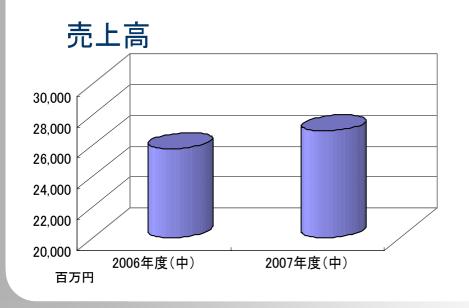


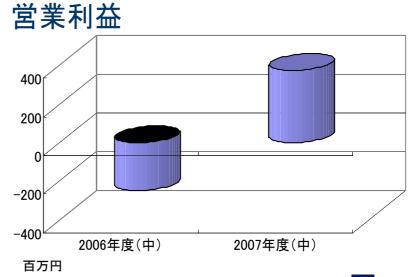
前年同期の赤字からの黒転を達成

2. 2007年7月~2007年12月 連結実績

単位:百万円

	06年度中間期	07年度中間期	前年比•差
売上高	25,728	26,906	104.6%
営業利益	▲250	373	+623
当期利益	▲ 155	194	+349

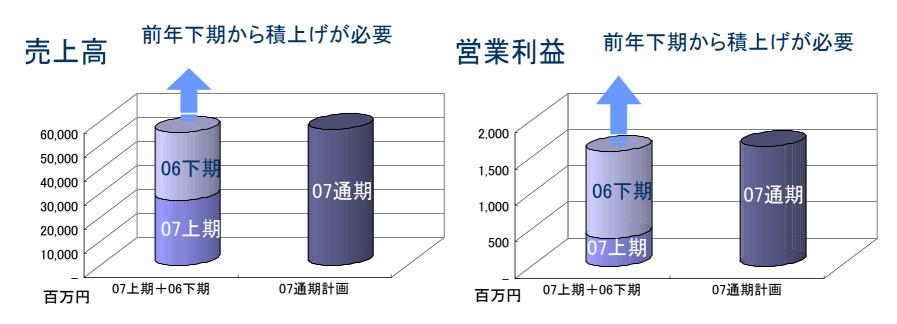




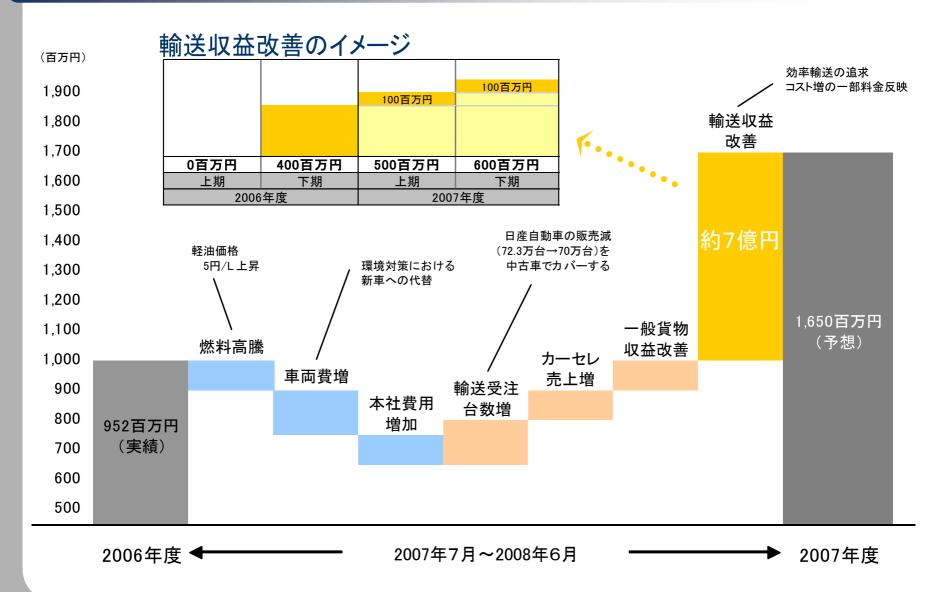
3. 2007年7月~2008年6月 連結見込み値

単位:百万円

	07年度	07年度	06年度
	上半期実績	通期見通し	下半期実績
売上高	26,906	56,500	28,449
営業利益	373	1,650	1,202



4. 連結営業利益の通期見通し



5. 配当方針について

配当方針 当社は安定配当+業績連動型の配当を実施しております。

潜在株式調整後 1株当り連結当期純利益	40円以下	40円超~80円	80円超~
年間配当金	8円	1株当たり 当期純利益 ×20%	1株当たり 当期純利益 ×25%

		2006年度 実績	2007年度 予定	前年差
潜在株式調 1株当り当期純禾		37円61銭	55円70銭	+13円64銭
上期		4円	4円	_
1株当り 配当金	下期	4円	7円	+3円
	合計	8円	11円	+3円

3. セグメント別の状況



1. 車両輸送関連セグメント

単位:百万円

	2006年度(中間期)	2007年度(中間期)	前年比
売上高	22,657	23,372	103.2%
営業利益	356	940	+584

このセグメントに含まれる主な事業

車両輸送事業 : 新車輸送、一般車輸送(中古車・マイカー等)、構内・検査、保管

車両整備事業 : 新車納車前整備、大型車整備 他

子会社: ゼロ・トランズ、ゼロ九州、TBM、苅田港海陸運送(一部)、フルキャストドライブ

新車、中古車の全需減

他社との競争激化

営業力不足

輸送コスト(燃料他)の増加

モーダルシフトと陸送短距離化

2. 車両輸送関連セグメント

为蒙

営業体制強化

ブロック別管理

顧客別戦略

新規サービス



料金の適正化

原価管理の徹底

戦力の再配置

輸送品質向上

納期の短縮

乗務員教育の強化

CS向上への取組み

3. カーセレクションセグメント

単位:百万円

	2006年度(中間期)	2007年度(中間期)	前年比
売上高	437	434	99.3%
営業利益	83	115	+32

このセグメントに含まれる主な事業

中古車オークション事業 : 入札会の運営(現車入札会、web入札会)

子会社:ゼロ・トランズ、ゼロ九州

中古車オークションの全需減

出品台数の伸び悩み

手数料値下げ競争

新規会場の設置(地方会場)

出品会社の積極的開拓

中古車輸出サービスとの連携

4. 一般貨物輸送セグメント

単位:百万円

	2006年度(中間期)	2007年度(中間期)	前年比
売上高	2,633	3,099	117.7%
営業利益	4	70	+64

このセグメントに含まれる主な事業

家電配送事業 : 大手家電量販店への店舗配送とユーザーへの宅配・設置

3PL事業 : 食料品の物流センター事業 子会社 : 苅田港海陸運送(一部)、九倉

採算性の低い商品センター

他社との競合激化

スケールメリットの不足

対策

商品センターの統廃合・新設

センター別収益管理の徹底

人員組織体制の強化

4. 中期経営計画 (ご参考)



1. 中期計画のモデル ~志の大きな会社に~

連結売上高1,000億円・営業利益率5%体制へ

